

2023年スギ花粉飛散数

期間	飛散数	累積花粉数	コメント
1月4日	0	0	
1月5日	0	0	
1月6日	0	0	
1月7日	0	0	
1月8日	0	0	
1月9日	0	0	
1月10日	0	0	
1月11日	0	0	
1月12日	0	0	
1月13日	2	0	初観測日 最高気温が高い日が続いたため早い初観測になりました。
1月14日	4	0	
1月15日	0	0	
1月16日	2	0	
1月17日	0	0	
1月18日	0	0	
1月19日	2	0	少しずつ飛散してますので、発症し医療機関を受診する患者さんが増えて来ました。
1月20日	2	0	
1月21日	0	0	
1月22日	0	0	
1月23日	0	0	
1月24日	4	0	
1月25日	5	0	今週の寒波が過ぎた来週半ばから飛散が増えるでしょう。
1月26日	0	0	
1月27日	1	0	
1月28日	1	0	
1月29日	0	0	
1月30日	0	0	
1月31日	2	0	
2月1日	3	0	
2月2日	0	0	2月10日ごろから最高気温が上がります。本格的な飛散が始まるかもしれません。
2月3日	0	0	太田教授が取材を受けました。(Youtubeへ飛びます。)
2月4日	7	0	
2月5日	7	0	
2月6日	3	0	
2月7日	5	0	
2月8日	9	0	この5日間は少量ですが毎日スギ花粉やハンノキの花粉が飛散しています。症状が早く出る方や重症化する方は治療を開始しましょう。
2月9日	3	0	
2月10日	7	0	
2月11日	6	0	
2月12日	3	0	東京では飛散開始となりました。
2月13日	3	0	
2月14日	3	0	
2月15日	1	0	毎日少量ですが続けて飛散していますので、1週間以内には本格的に飛散が開始すると思われます。
2月16日	4	0	
2月17日	10	0	
2月18日	5	0	
2月19日	19	0	
2月20日	6	0	

2月21日	3	0	飛散開始の定義は二日続けて1個/cm ² 以上飛散した最初の日と定義されています。17日と19日は1日だけですので飛散開始にはなりませんでした。
2月22日	8	0	27日以降は最高気温が高いため飛散開始と第1にピークが来ると予測されます。
2月23日	1	1	飛散開始日（本日から個/cm²）表示となります
2月24日	3	4	
2月25日	0	4	
2月26日	1	5	
2月27日	1	6	
2月28日	33	39	第1のピークです。3月6日の週は前の週の10倍程度の大量飛散が予測されます。未治療の患者さんは一気に症状が重症化されます。
3月1日	122	161	
3月2日	6	167	五橋は2月28日が飛散開始日となりました。
3月3日	10	177	3月20日の週が最大の飛散のピークになると考えられます。
3月4日	7	184	
3月5日	150	334	
3月6日	187	521	
3月7日	717	1238	気温の上昇に伴い急激に飛散数が増えました。まだ飛散数は10分の1程度と見られます。
3月8日	884	2122	
3月9日			五橋では観測史上最高の2,902個の超大量飛散となりました。初期治療を行っていない方は日常生活にかなり支障を及ぼすほど症状が重症化しています。
3月10日			
3月11日			五橋では総飛散数が6,000個を超え昨年の飛散数を上回りました。泉でも毎日大量の飛散が続いています。最高気温が高い日が続いているので一気に大量の花粉が飛散し、今年の飛散期間は短くなるかもしれません。
3月12日			この大量飛散で飛散数は3分の1が経過したと見られます。まだ3分の2が残っていますのでまだまだ注意が必要です。

2023年東北大学屋上で測定したスギ花粉日算数を提供いたします。

飛散開始日までは、何個 / 14.4cm²で表示いたしますが（ひとつのスライドガラスに何個乗っているか）、2月後半の飛散開始日以後は何個 / cm²の表示になります。

2023年スギ花粉飛散状況

初観測日 1月13日